



北陸地方整備局
松本砂防事務所
記者発表

発表日時

平成24年4月26日

配布をもって解禁

北アルプス周辺地域において

大規模土砂災害に備えた監視観測体制を強化します

～関係機関との防災情報通信ネットワーク強化推進～

北アルプス周辺地域には、平成22年8月に国土交通省砂防部より公表された深層崩壊推定頻度に関する調査で「特に高い」と推定されたエリアが集中しています。

近年、全国で深層崩壊が多発しており、深層崩壊等の大規模土砂災害発生時には、災害に関する情報を早期に共有し、その情報を関係自治体や住民にいち早く提供し早期避難に役立ててもらう必要があります。

北アルプス周辺においては、砂防部局、国立公園管理者、山小屋関係者、通信事業者などが各々の事業及び管理に必要な情報基盤整備を進めています。これらの官民が連携しこれまで整備を進めてきた情報基盤を共有・活用することにより、大規模災害発生時における通信手段の確保、及び早期の情報発信など地域の安全性を高めるとともに、各々の事業及び管理の高度化を図ることが可能となります。

そこで、北アルプス周辺地域において、官民連携による国土監視・観測、及び情報伝達機能など多目的に活用できる情報基盤の利用の高度化を進めるため、今後以下の事業を進めます。

一事業内容一

(1) 斜面崩壊検知センサーの設置

深層崩壊発生の危険度が高い地域において、大規模土砂災害をリアルタイムに把握するため、斜面崩壊検知センサーの設置を進めます。

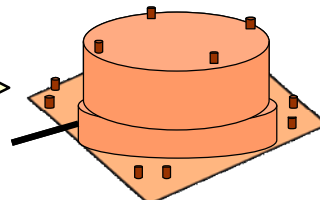
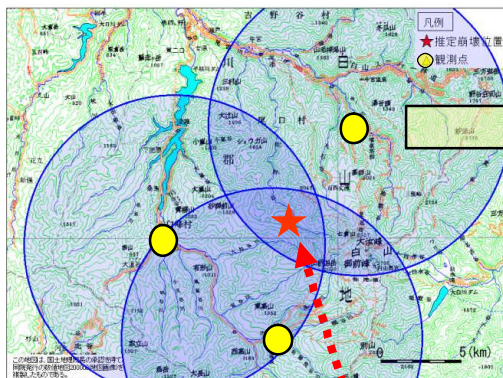
(2) 防災情報通信ネットワークの強化

大規模土砂災害発生時における通信手段確保、及び早期情報発信のために、官民連携による防災情報通信ネットワークの強化を図ります。

一事業効果一

- (1) 土砂災害発生情報の早期把握、及び現地映像等の情報共有のスピード化を図ります。
- (2) 広く一般への情報共有を図るとともに、画像情報等のリアルタイム化により情報の質が向上します。

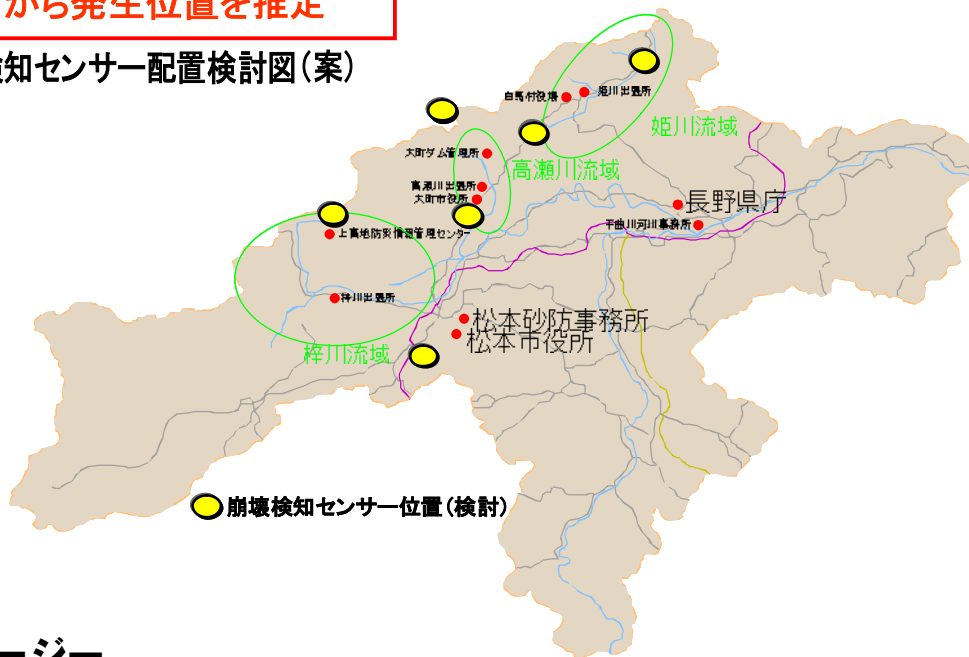
一斜面崩壊検知センサー一



振動センサー(イメージ図)

3地点の振動到達時間差から発生位置を推定

北アルプス崩壊検知センサー配置検討図(案)



一情報共有イメージ一



お問い合わせ先
 北陸地方整備局 松本砂防事務所
 電話 (0263) 33-1115 (代表)
 (技) 副所長 地中 浩 (内線 204)
 調査課長 石川 一栄 (内線 351)